

図書館を活用した学び方指導体系表

		小学校低学年	小学校中学年	小学校高学年	中学校
		読書の楽しさを知り、正しい利用の仕方を身に付ける。図書資料には、題名・作者・訳者名などが書かれていて、情報を使うときにはマナーがあることを知る。	いろいろな種類の本を読み、課題解決に向けて学校図書館の資料を活用する。資料の利用の際は、出典を明らかにする。	目的に応じて、学校図書館の資料を活用し、主体的・協同的に学習に向かう。著作権を尊重し、情報の取扱いに気を付ける。	自ら調べたいことや知りたいことを解決するために学校図書館を利用し、考えの根拠として必要な複数の資料を活用する。
知る	図書館の利用	【国語】ピーパーの大工事 	【国語】ほけんだよりを読み比べよう 【社会】昔を体験してみよう 	【理科】メダカのたんじょう 	【美術】憩いのある場所について構想を練る 
		身近なことや経験したことから、興味関心に応じて学習課題を決める	興味関心に応じて具体的な課題を決める。	目的や意図に応じて、適切な学習課題を決める。	社会課題に関する課題を中心に、目的意識や他者意識をもって学習課題を決める。
見つける	課題の設定	【図工】ながーいかみから 	【社会】くらしとごみのしまつ 	【理科】大地のつくりと変化 【図工】墨から感じる形や色 	【社会】東北地方の生活や文化を体験できる旅行プランを企画しよう 
		楽しんだり知識を得たりするために、図書資料を選んで読む。	目的に応じて、いろいろな図書資料を選んで読む。	目的に応じて、複数の図書資料を選んで比べて読む。	目的に応じて、最適な情報の収集方法（学校図書館やインターネットなど）を選択し、効果的に情報を収集・検証する。
つかむ	情報の収集	【特活・国語】いいところを見つけよう 【生活】大きくそだてわたしの野さい 	【国語】自然のかくし絵 【国語】一つの花 【外国語】世界のいろいろな国のあいさつをしてみよう！ 	【国語】新聞記事を読み比べよう 【国語】注文の多い料理店 【家庭科】食べて元気！ごはんともみそ汁 【社会】食生活を支える食料の産地 	【数学】比例と反比例の利用 
		集めた情報を、目的に合わせて順に並べる。	二つ以上の情報から共通点や相違点を見つけ、情報を分ける。	二つ以上の情報を目的に応じて比較・対照したり分類したりする。	二つ以上の情報を目的に応じて多面的・多角的に考察（原因を見つける・分類する・比較する）することで、自分の主張につなげる。
まとめ	情報の整理・分析	【国語】いろいろなふね 【特別活動】あしはらすいぞくかんをつくらう 	【図工】絵から聞こえる音 【算数】重さ 	【図工】名画の鑑賞 【道徳】働くってどういうこと？ 【図工】くらべてみよう 	【理科】私たちの生活とさまざまな生物 
		相手や目的に応じた様々な伝達方法について知り、経験する。	相手や目的に応じて適切な方法を選んで表現・伝達する。	相手や目的・意図に応じて効果的な表現や伝達方法について工夫する。	相手や目的・意図に応じて、整理・分析した結果を相手に伝えるように組み立て、最適な表現方法（レポート・プレゼン等）を選択・工夫する。
伝えあう	発表・交流	【国語】たんぽぽ 	【総合】「らしさ」について考えよう 【特別活動】みんながすごしやすい学校へ 	【図工】学校へようこそ　ろうかを乗り物ワールドに 【保健】健康な生活をめざして～学びの成果を伝えよう～ 	【国語】自分流「枕草子」を書こう 